

## 50回目の1学期 充実した夏休みに

校長 藤田 雅彦

6月13日に開いたプールからは、連日、水しぶきの音や先生の笛の音が響いています。人数・時間数、取組み内容等に配慮しながらですが、少しずつ本来のプール活動の形に戻ってきています。「どうぶつ歩きが上手にできたぁ(2年女子)」「結構な距離を泳いで、足がパンパンになった(6年男子)」との子どもたちの声。思わず笑顔が溢れます。

先月22日(水)の「50周年朝会」で私は、子どもたちに次のような話をしました。

来週の今日、29日は、大谷口小学校の誕生日「開校記念日」です。何歳になりますか?そうだと、50歳、50回目の「開校記念日」です。

大谷口小学校は3年間の工事期間を経て、谷田小学校から分かれ、昭和48年(1973年)4月1日に、旧浦和市内28番目の学校として児童数844名、22学級で開校しました。新校舎落成式が行われた6月29日を「開校記念日」としました。児童数は、現在が763名です。一番多いときは1,218名(昭和54年度)、少ないときは596名(平成28年度)でした。令和に入ってからここ数年は、少しずつ増加しています。そして、これまでに6,374名の卒業生を送り出してきました。

5月20日には、金管バンドや代表委員の皆さん、保護者の皆さんなど多くの方にも御協力いただき「50周年行事」も行うことができました。人文字航空写真やバルーンリリースも行いました。どうでしたか?その日の出来事は、お家の人たちにもお話しできましたか?まだの人はぜひ、話をしてください。また、明日、23日には、「お祝い給食」が準備されています。“おだるまる”にも会えますよ。楽しみに待っていてください。

4月の講話朝礼では「大谷口小学校の歴史を見付けよう」という話をしました。覚えていますか?そして、見付けられましたか?

私は、34個もの「卒業記念品」を見付けました。一番古いものは、今から46年前、第4回昭和51年の卒業生が送ってくれたもので、体育館に飾られている「大谷口小学校校歌」です。中には、3つ、誰が作って送ってくれたのかが分からないものがあります。そのうちの1つは、校庭の百葉箱のそばにある三角形の大谷口小学校の校章が乗った「モザイク塔」です。

皆さんも、学校の中の大谷口小の“歴史”を見付けながら、お家の人とも大谷口小学校のことをいっぱいお話してください。

50回目の1学期が終わります。まだまだ色々な面で制限が続く中、本校の状況を考慮しながら進めてきた1学期でしたが、保護者、地域の皆様には、常に子どものために御協力・御支援をいただき、本当にありがとうございました。

最後に、7月21日から36日間の夏休みに入ります。子どもたちが様々な価値ある体験を通して、一層たくましくなってくれることを期待しています。そして、健康・安全に十分留意し、8月26日の始業式には、元気いっぱい・笑顔いっぱい登校して来てください。



①「モザイク塔」



②児童棟東側「顔モニュメント」



③メダカ池「オアシス碑」

※由来未確認の記念品3点 情報がありましたらお知らせください。